

川島地区 CS 小中学校共通学校評価アンケート【保護者】分析

川島小学校 170人中 107人回答 回答率 62.9% 20項目

肯定群「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の割合が高い 5項目

問 6	子どもが地域の歴史や自然・文化の学習をするのは大切だ。	100%
問 17	学校は、健やかな体を育むために努力している。	92.5%
問 1	私（保護者）は、学校行事に積極的に参加している。	91.6%
問 18	学校は、外部の人を温かく迎え入れる雰囲気がある。	90.7%
問 7	私の子どもは、楽しんで学校に通っている。	85.0%

肯定群「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の割合が低い 5項目

問 11	私の子どもは、自分の考えをうまく伝えることができる。	57.9%
問 14	私の子どもは、スマホやゲームの家庭ルールを守れている。	57.9%
問 12	私の子どもは、家庭学習をする習慣がついている。	63.6%
問 18	私（保護者）は、PTA 活動やボランティア活動にできるだけ参加している。	69.2%
問 10	私の子どもは、早寝早起き朝ごはんの習慣が身についている。	71.0%

【考察】

- 問 6「子どもが地域の歴史や自然・文化の学習をするのは大切だ。」問 18「学校は、外部の人を温かく迎え入れる雰囲気がある。」については、地域の方々に多方面からご協力いただき『田植えや稲刈り』『にんにく栽培』などの学習に取り組んでいることや『人権教育』『キャリア教育』『防災教育』『健康教育』などの学習に外部講師を招いて取り組んでいる結果と思われます。今後も、子どもたちが『ヒト・モノ・コト』に出会い成長する機会を設けていきたいと考えています。保護者のみなさまのご協力もよろしくお願いいたします。
- 問 17「学校は、健やかな体を育むために努力している。」については、肯定群 91.6%で、教職員も「児童は、体を鍛えることに積極的に取り組んでいる。」100%と高評価です。コロナウイルス感染症拡大防止対策が5類へ移行されたこともあると思われますが、児童も「進んで、外で遊んだりスポーツをしたりして体を鍛えている。」で肯定群の回答をした児童は昨年を7.2ポイント上回り83.3%です。今後も、運動の得手不得手に関わらず、運動する機会を確保するために、授業での水泳・なわとび検定会や、業間休みや放課後を利用しての持久走や陸上運動等の体力づくり活動を全校的に継続して取り組んでいきます。
- 問 1「私（保護者）は、学校行事に積極的に参加している。」については、肯定群 91.6%とたくさん参加していただいていることが伺えます。ありがとうございます。一方で、問 18「私（保護者）は、PTA 活動やボランティア活動にできるだけ参加している。」の肯定群は 69.2%と低くなっていますが、活動とお仕事等の事情の兼ね合いかと思われます。運動会の後の片付けや愛校作業等を振り替えてみても、たくさんの保護者の方にご協力いただいていることに感謝でいっぱいです。引き続き、PTA 活動等へのご協

力をよろしくお願いいたします。

- 問 11 「私の子どもは、自分の考えをうまく伝えることができる。」は、肯定群 63.6 % から 57.6 %と下がっています。児童も「授業や行事などで、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している。」は、前年度 (60.6 %) に比べると 8.6 ポイント上昇していますが 69.2 %の肯定群に止まっています。今後も、どのように表現すれば、相手に対して自分の考えが伝わるのかについて、スキルを高めていく必要があります。
- 問 5 「私 (保護者) は、子どもと話し合っただマホやゲームの家庭ルールをつくっている。」については、前年度肯定群 88.1%から 78.5 %に落ち込んでいます。また、問 14 「私の子どもは、スマホやゲームの家庭ルールを守れている。」の肯定群は前年度 61.0 % から 57.9 %と落ち込んでいます。児童の評価も「スマホやコンピュータで SNS やゲームをしたり動画を見たりする時、家族と約束したことを守っている。」が 77.6 %の肯定群に止まっています。児童の評価「コンピュータやタブレットを使うのは勉強の役に立つ。」が 90.4 %の肯定群ということから、学校では、あらゆる場面や機会を通じて道具の正しい使い方を指導を継続していきます。また、ご家庭とも協力しながらネット上に潜む危険から自分自身を守ることでできるスキルを向上させる必要があります。
- 問 13 「私の子どもは、家庭学習をする習慣がついている。」については、肯定群 63.6% ですが、児童の評価「毎日かかさず、家でも勉強している。」の肯定群は前年度 72.9 % から 64.7 %と下がっていることが気になります。約 35 %の児童が、毎日の家庭学習ができていないことが明白であり、原因を究明し学習習慣の定着を図る必要があります。
- 問 12 「私の子どもは、集中して真面目に授業に取り組んでいる。」については、肯定群 78.5%です。児童の評価「学校では集中してまじめに勉強できている。」の肯定群は、74.4 %です。約 25%が学びにくさやつまづきを感じていることが伺えます。わかる喜び、できた喜びが味わえる学習が展開できるように全教職員で取り組んでまいります。
- 問 6 「私の子どもは、楽しんで学校に通っている。」については、肯定群は前年度 79.7% から 85%に伸びています。ご家庭でお子さまの話をしっかりと聞いていただいている結果の表れだと思っています。一方で、児童の評価「学校に行くのは楽しい。」の肯定群は前年度 (79.4 %) から 72.4%と 7 ポイントも落ち込んでいます。学校は、お子さんが安心して安全に過ごすことのできる場所であるべきところです。この結果を真摯に受け止め改善に努めてまいります。
- 問 10 「私の子どもは、早寝早起き朝ごはんの習慣が身についている。」の肯定群が前年度 80.5%から 71.0%と落ち込んでいます。現状としては始業時刻 8:15 に登校できていないお子さんが増えてきています。朝いろいろなご家庭の事情等もおありかと拝察いたしますが、8:10 には登校後の準備を済ませ、8:15 分には自分の席について落ち着いて朝の活動が始められますようご協力ください。
- 問 5 「学校は、保護者や子どもが相談しやすいように努力している」については、肯定群前年度 (83.1%) から 74.8%と下がっています。児童の評価「困ったことがあったら学校の先生や家族、友だちに相談できる。」の肯定群は 75.6%です。日頃から、教職員には子どもたちの話にしっかりと耳を傾けるように指導しています。今後も、学校が、子どもたちはもとより保護者のみなさまの相談にもしっかりと寄り添えるように努めてまいります。